

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立新今宮小学校

児童数

53

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.55	19.68	36.55	38.50	41.00	9.42	149.62	21.91	52.19
大阪市	16.48	19.16	32.16	38.84	48.29	9.39	147.79	22.76	52.23
全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
女子	15.03	18.65	40.32	39.16	43.16	9.23	140.23	12.90	56.13
大阪市	16.06	17.79	36.86	36.98	37.66	9.66	140.64	13.79	53.50
全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

結果の概要

今回の平均結果を見ると、男子と女子に大きな違いがあることが分かった。体力合計点で、男子は全国、大阪市平均を下回り、女子はそれとは逆に、全国、大阪市平均を上回る結果となっている。男子は8種目中3種目（上体起こし・長座体前屈・立ち幅跳び）で、大阪市平均を上回るにとどまっている。その内2種目（上体起こし・長座体前屈）は全国平均を上回っている。女子は、8種目中5種目（上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走）に大阪市平均を上回っている。その内4種目（上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走）を全国平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本地域には、放課後の時間、子どもたちが自由に外で遊ぶ公園やグラウンドなどが多くない。また、スポーツに親しむ環境にも恵まれてはいない。それゆえ、子どもたちの体力向上への学校の役割は非常に大きい。もと萩之茶屋小学校、弘治小学校、今宮小学校が統合され、広大な今宮中学校の敷地に新今宮小学校が開校し、広い運動場を思いっきり使用できる環境が整った。しかし、実際はまだまだ、休み時間などの時間に、大粒の汗を流し、走り回る元気な姿はあまり見られない。体育の授業は、児童が主体的に活動ができる指導法を工夫しているが、まだまだ、体力向上への意識が薄い。今回の女子の結果は、取り組みの結果というよりは、女子児童が持つポテンシャルに影響しているように見える。希望する高学年児童が中学校の部活動へ参加をしているが、ここでも女子の方が、運動部へ積極的に参加している。そのようなことから、学校全体で体力を向上させるような取り組みを計画し、実践できるようにしていかなければならない。

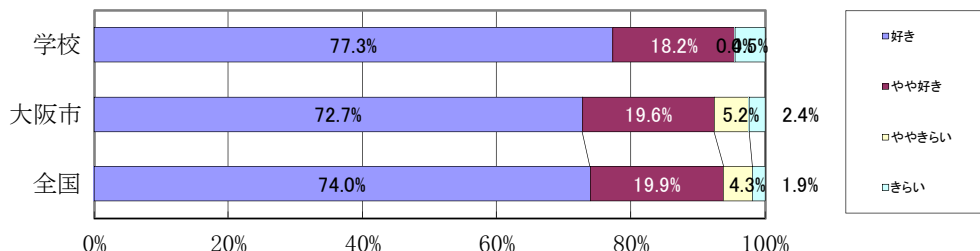
運動やスポーツについて（男子）

質問
番号

質問事項

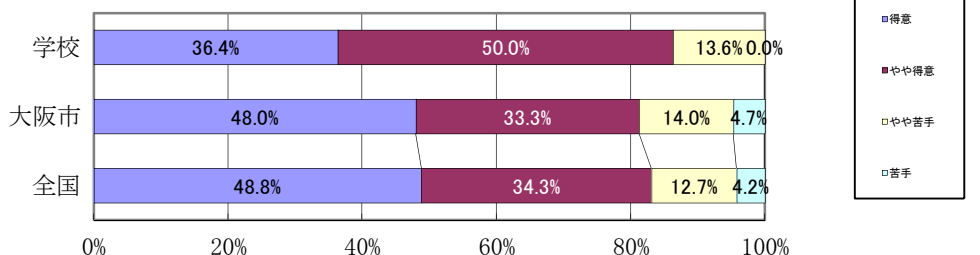
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



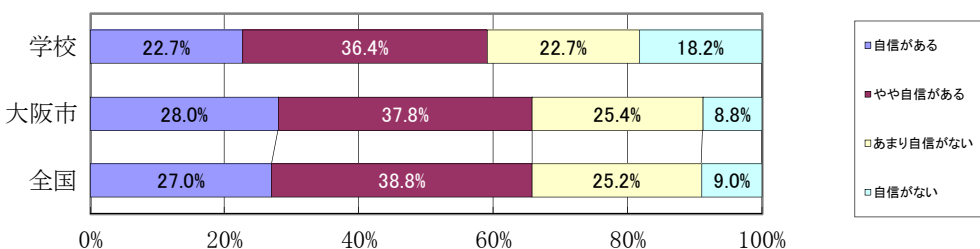
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



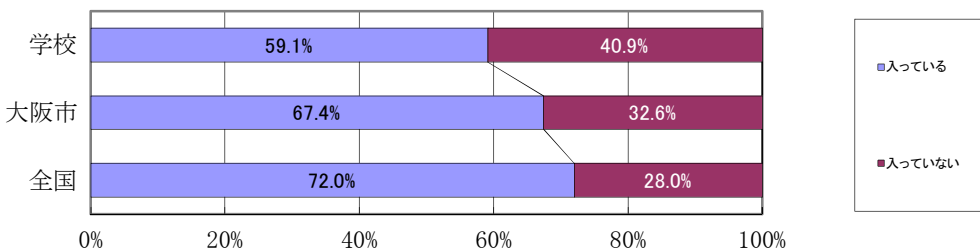
3

自分の体力に自信がありますか



5

学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか（スポーツ少年団をふくむ）



成果と課題

統合前の3小学校でそれぞれ体力向上に向けての取り組みの積み重ねがあり、基本的に本校児童は、体を動かすこと（スポーツをすること）が好きな児童が多いのだが、運動が得意で、体力に自信があるかと言えばそうではない。本地域には、児童が体を思い切り動かせる公園やグラウンドが少なく、また、スポーツクラブなどで運動する児童も少ない。そのため、学校が果たさなければならない役割は大きい。小中一貫校の取り組みで、高学年児童から中学校の部活動に希望すれば入れるようにしたが、まだまだ十分に実施できてはいない。

今後の取組

本校児童は運動をすることが好きな児童が多いため、主体的に運動やスポーツに親しめる環境を整備することで、体力向上が見込まれる。小中一貫校の強みを生かし、部活動（中学校運動部）への参加児童を増やしていく。また、恵まれた運動場を効果的に活用し、年間通して運動に親しみ、様々な種目にチャレンジができる取り組みを模索していく。

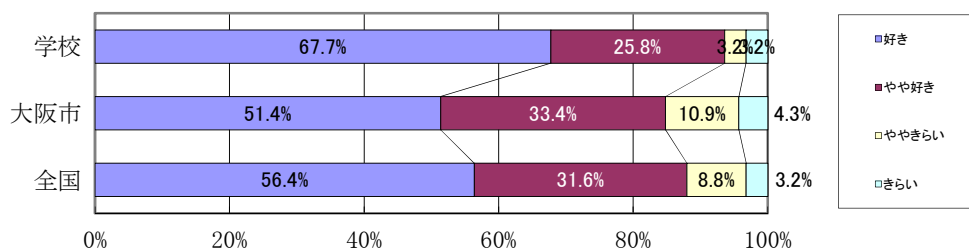
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

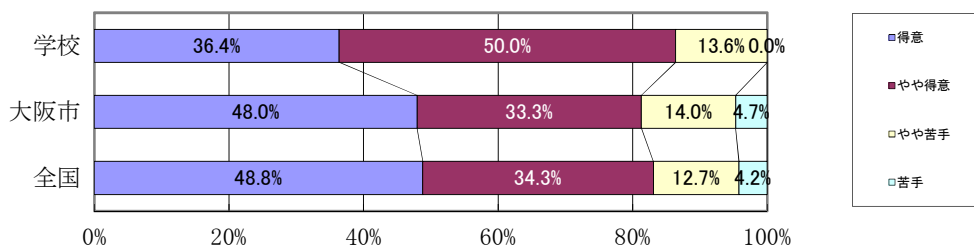
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



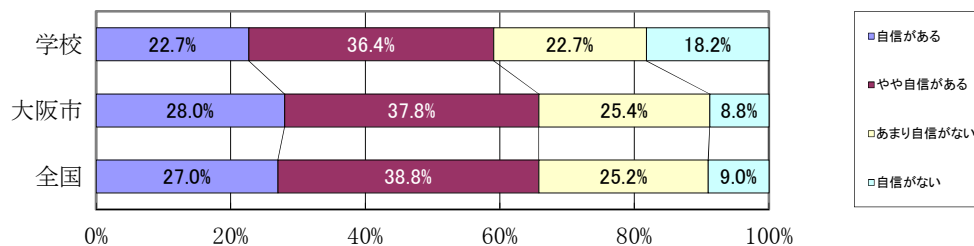
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



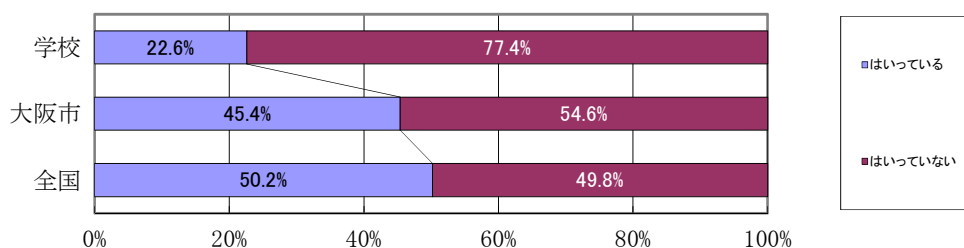
3

自分の体力に自信がありますか



5

学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか（スポーツ少年団をふくむ）



成果と課題

統合前の3小学校でそれぞれ体力向上に向けての取り組みの積み重ねがあり、男子児童と同様に、基本的に本校児童は、体を動かすこと（スポーツをすること）が好きな児童が多いのだが、運動が得意で、体力に自信があるかと言えばそうではない。こども、男子児童とほとんど傾向が似ている。また、本地域には、児童が体を思い切り動かせる公園やグラウンドが少なく、また、スポーツクラブなどで運動する児童が男子よりも少ない。そのため、学校が果たさなければならない役割は大きい。小中一貫校の取り組みで、高学年からの部活動参加があるが、男子と比べると女子は比較的多く参加している。

今後の取組

本校児童は運動をすることが好きな児童が多いため、主体的に運動やスポーツに親しめる環境を整備することで、体力向上が見込まれる。小中一貫校の強みを生かし、部活動（中学校運動部）への参加児童を増やしていく。また、恵まれた運動場を効果的に活用し、年間通して運動に親しみ、様々な種目にチャレンジができる取り組みを模索していく。

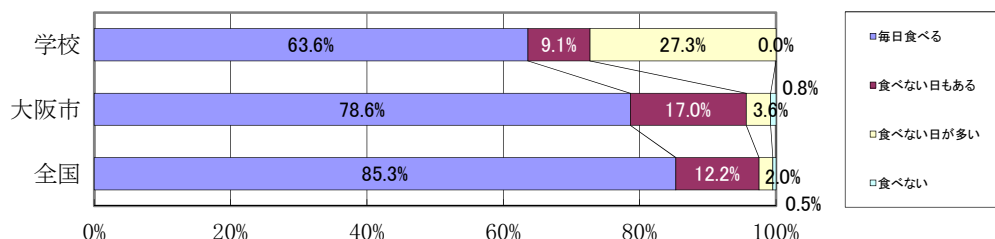
ふだんの生活について（男子）

質問
番号

質問事項

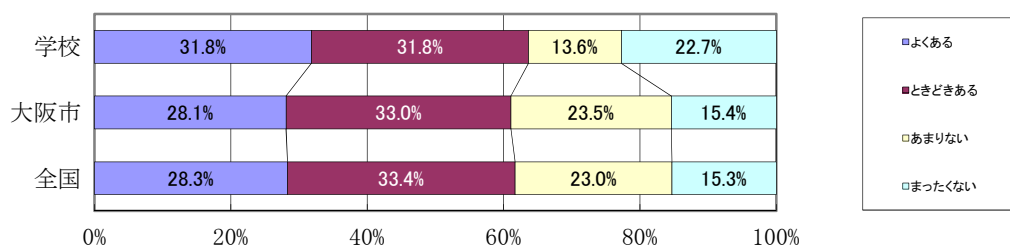
8

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



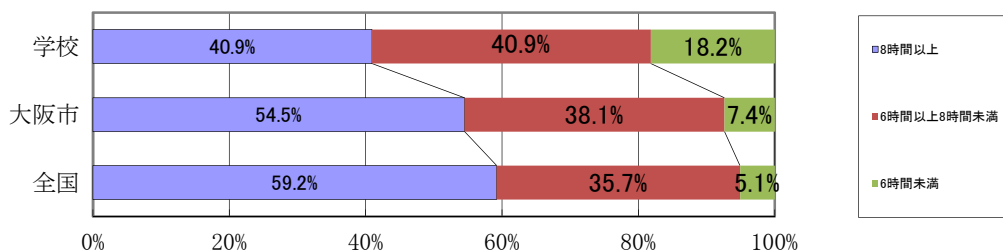
15

家の人から運動やスポーツを積極的にやることをすすめられますか



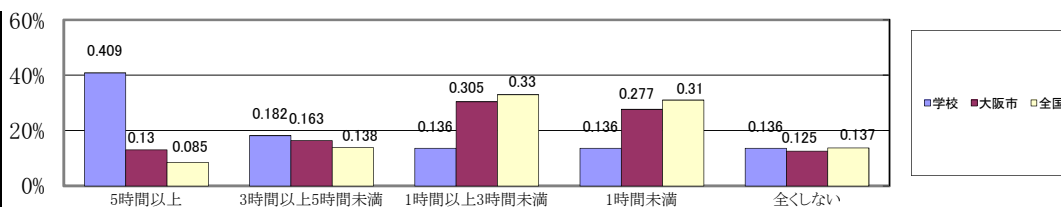
10

毎日どのくらいねていますか



13

ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、けい帯式のゲーム、けい帯電話やスマートフォンを使ったゲームをふくむ)をしますか



成果と課題

基本的な生活習慣を送れている児童が全国、大阪市平均と比べても大きく下回ることが質問8、10、13をみれば理解できる。運動も含めて充実した学校生活を送るために必要な朝食を抜いて登校している児童が多く心配である。また、帰宅してからの時間の使い方で、テレビゲームなどで長い時間を過ごす児童が多く、そのため十分な睡眠がとれていないことが大きな問題である。

今後の取組

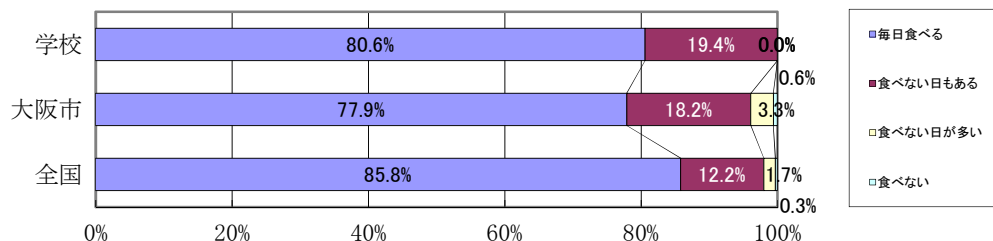
すくすくと育ち、健康的に学校生活を送るために、「食べて・動いて・よく寝よう」というキャッチフレーズが今注目をあびているが、本校児童の実態は、依然として厳しい状況である。しかし、児童の実態に応じた保健指導をする中で、自分でできることを増やしていける教育実践を進めていく。家庭学習の必要性にも触れ、適切な時間のすごし方を学び、長時間やり続けているテレビゲーム等を制限できる気持ちを育てていく。もちろん、保護者への啓発も忘れず、協力してもらえるように声かけをしていく。

ふだんの生活について（女子）

質問番号 質問事項

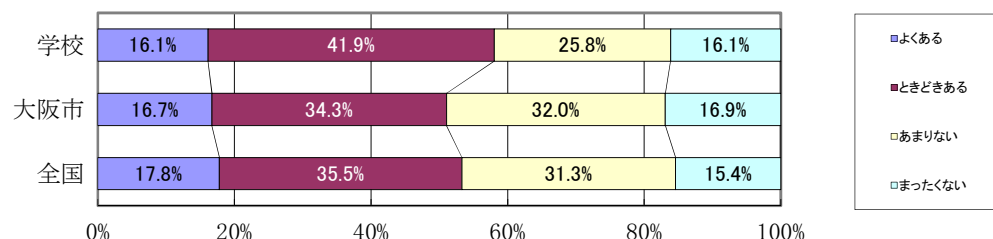
8

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



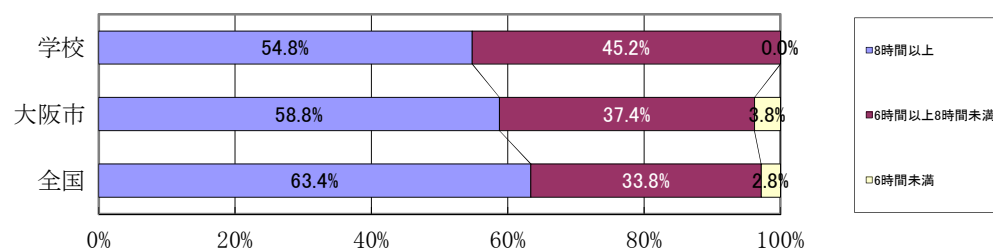
15

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



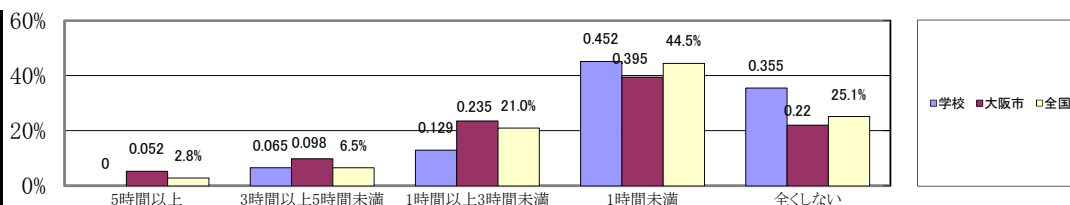
10

毎日どのくらいねていますか



13

ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、けい帯式のゲーム、けい帯電話やスマートフォンを使ったゲームをふくむ)をしますか



成果と課題

「朝食・睡眠」がしっかり取れているかの質問では、大阪市、全国平均と比べてもあまり変わらないが、けっして満足ができる数字ではない。特に睡眠が十分とれていないのは、男子児童同様気になる点である。質問13であるが、この数字が意味することは何であろうか。テレビゲームをする時間が少ないことは良いことだし、心身ともに健康的な生活を送るために続けてもらいたい。今後、上記のことが、睡眠時間の確保につながれば良いだろう。

今後の取組

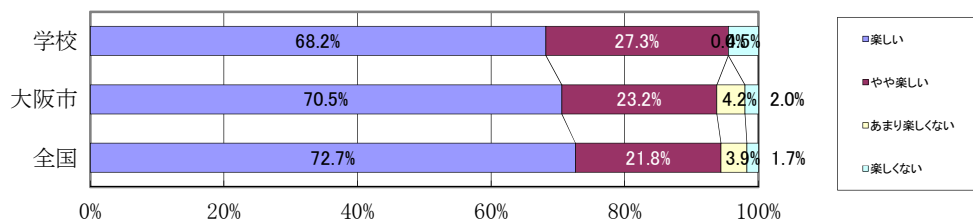
すくすくと育ち、健康的に学校生活を送るために、「食べて・動いて・よく寝よう」というキャッチフレーズが今注目をあびている。女子児童のスポーツテストの結果が好成績であったのは、児童のポテンシャルに影響していることが大きな要因であると分析したが、朝食の問題や、帰宅後の時間の過ごし方も関係しているのかもしれない。できることは継続し、そうでないことはできるように児童への働きかけをしていく。また、保護者への啓発も忘れず、協力してもらえるように声かけをしていく。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

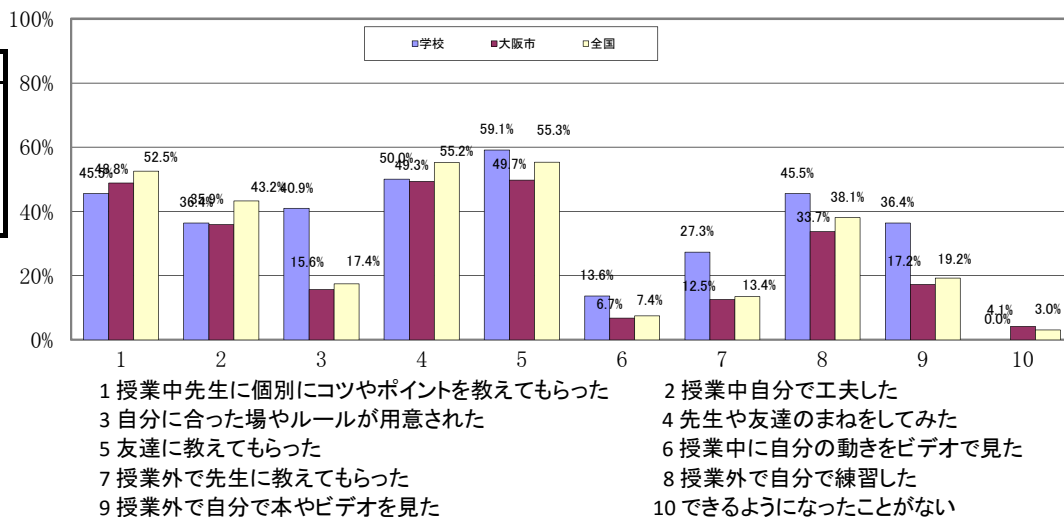
20

体育の授業は楽しいですか



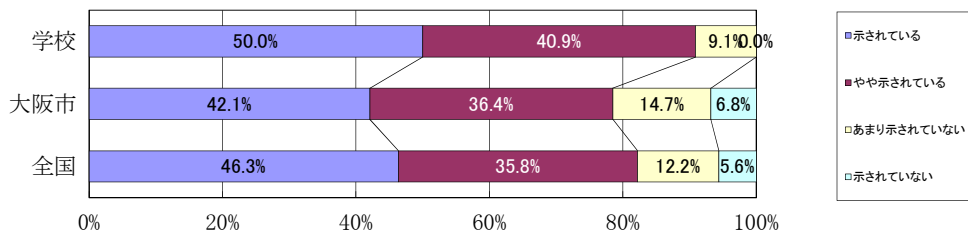
26

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



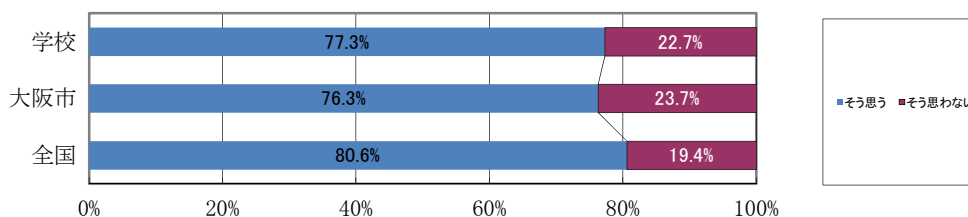
21

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



25-5

体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある。



成果と課題

児童が主体的に運動に親しめるように心がけ、指導法や教材を工夫しているので、体育の授業が「楽しい」と肯定的にとらえている児童が、大阪市、全国平均よりも上回る結果となっている。授業の目標をしっかりと示すことで児童が主体的に活動ができてきたと思われる。質問26の回答結果を見ると、学校でのサポートが児童の「できるようになった」に大きく影響し大切であることがわかる。また、「個の力の伸び」も注目すべきであるが、質問25-5でもあるように、なかまと協力し、励ましあっていることにも注目できる。指導者のますますの体育授業力の向上が今後の課題の中心になるであろう。

今後の取組

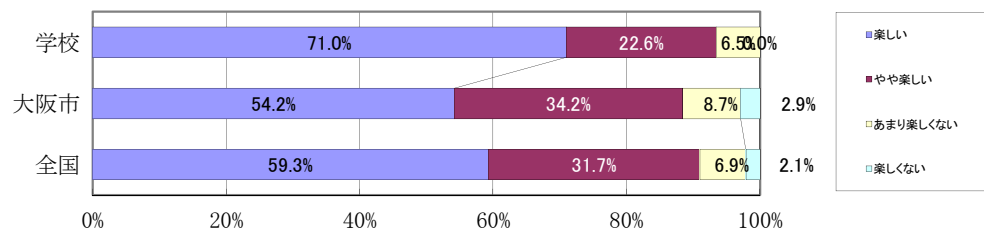
本校男子児童は、体育の授業で「たくさん動いている」と全ての児童が感じている。また、ほぼ全員が「楽しい」と感じている。つまり、体力が向上するうえで大切になってくる向上意識はあると考えてもよい。つまり、体育授業で運動していることをどう生かしていくか、体力向上にどうつなげていくか。様々な運動(スポーツ)について、目標をもって取り組める体育的行事を計画していく。

体育の授業について（女子）

質問 番号 質問事項

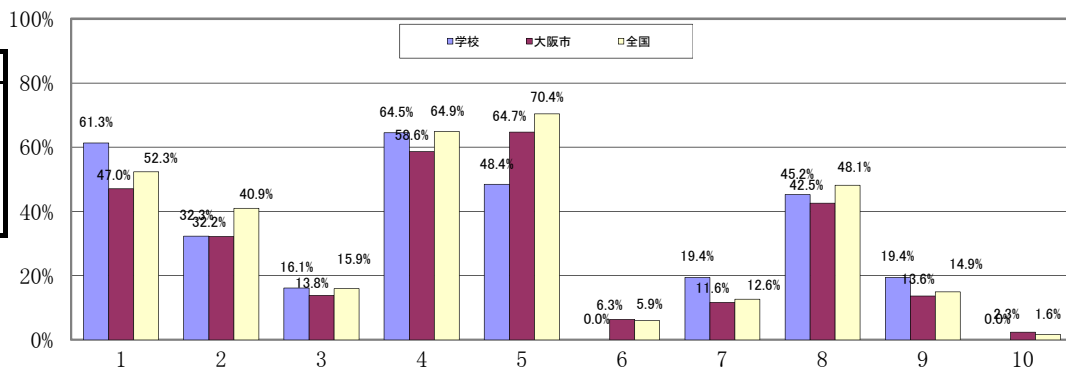
20

体育の授業は楽しいですか



26

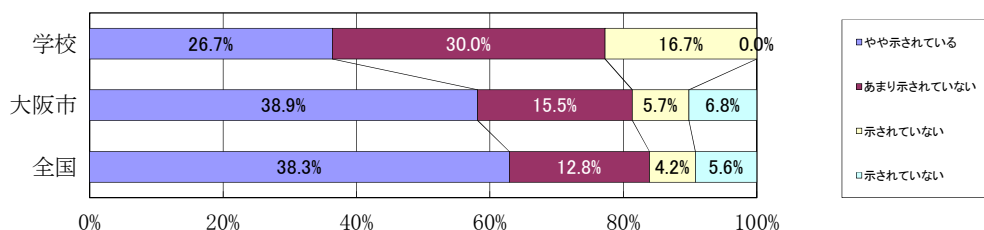
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

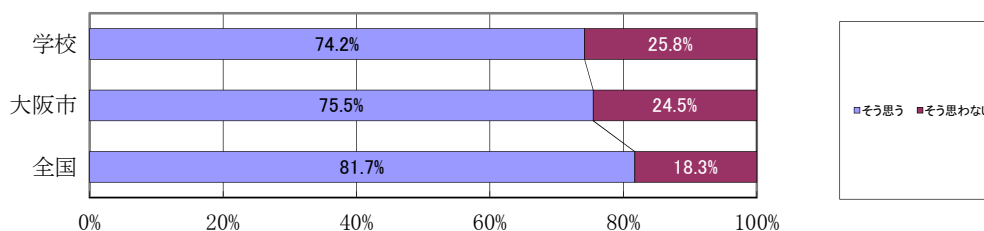
21

ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか



25-5

体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある



成果と課題

児童が主体的に運動に親しめるように心がけ、指導法や教材を工夫しているの、体育の授業が「楽しい」と肯定的にとらえている児童が、大阪市、全国平均よりも上回る結果となっている。質問26の回答結果を見ると、学校でのサポートが児童の「できるようになった」に大きく影響し大切であることがわかる。また、「個の力の伸び」も注目すべきであるが、質問25-5でもあるように、なかまと協力し、励ましあっていることにも注目できる。指導者のますますの体育授業力の向上が今後の課題の中心になるであろう。

今後の取組

本校女子児童は、体育の授業で「たくさん動いている」と多くの児童が感じている。また、ほぼ全員が「楽しい」と感じている。つまり、体力が向上するうえで大切になってくる向上意識はあると考えてもよい。つまり、体育授業で運動していることをどう生かしていくか、体力向上にどうつなげていくか。様々な運動(スポーツ)について、目標をもって取り組める体育的行事を計画していく。

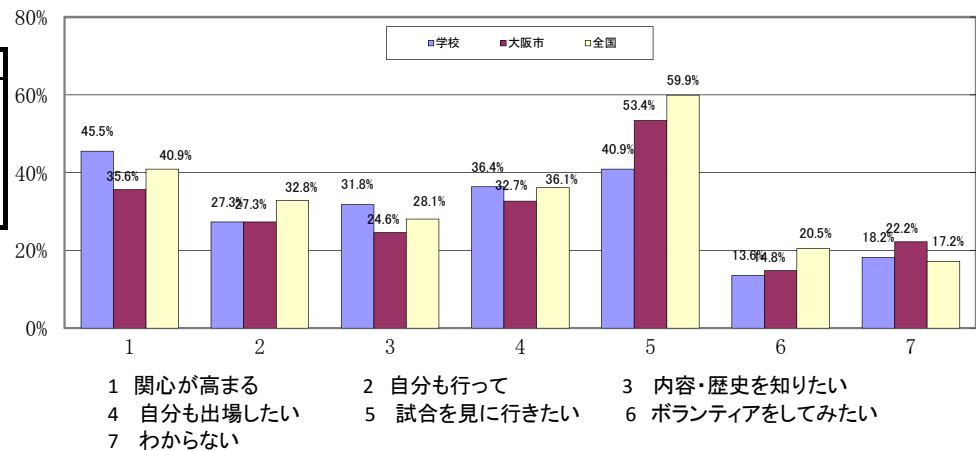
小学校入学前や現在のことについて（男子）

質問
番号

質問事項

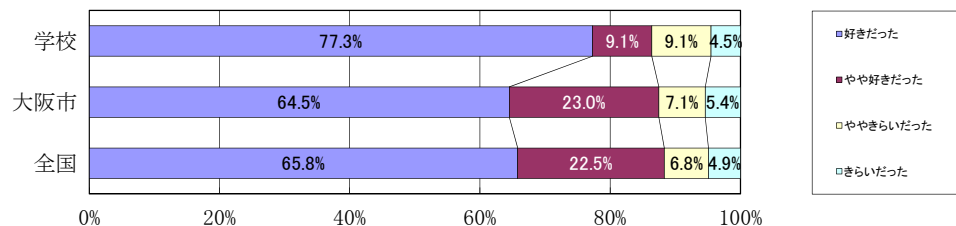
29

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



30

小学校入学前は、体を動かす遊びが好きでしたか。



成果と課題

質問29の結果を分析すると、オリンピックに興味・関心があるが、「実際に見に行くか」や「ボランティアをするか」の質問に対する回答が肯定的な回答でない。それは、実際に自分のこととしてとらえていない児童が多いのかもしれない。「自分も出場してみたい」という回答が多いのは、一般的な思いであって、自分の力を試したい思いで答えた児童は少ないだろう。つまり、テレビの中の出来事としてとらえている。これまでの地域スポーツなどの経験値が少ないからなのかもしれない。

今後の取組

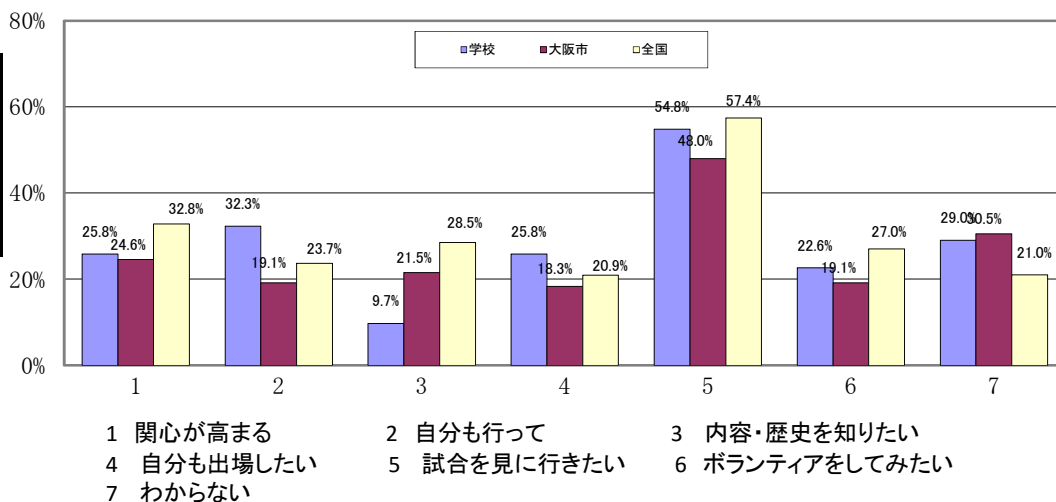
前項目でも記述したが、児童は、運動することが好きなのだから、校内でいかに取り組みを充実していくかが重要である。中学校の運動部活動への積極的な参加や、中学校体育教諭による模範演技などで児童の興味関心も高まるであろう。

小学校入学前や現在のことについて（女子）

質問 番号 質問事項

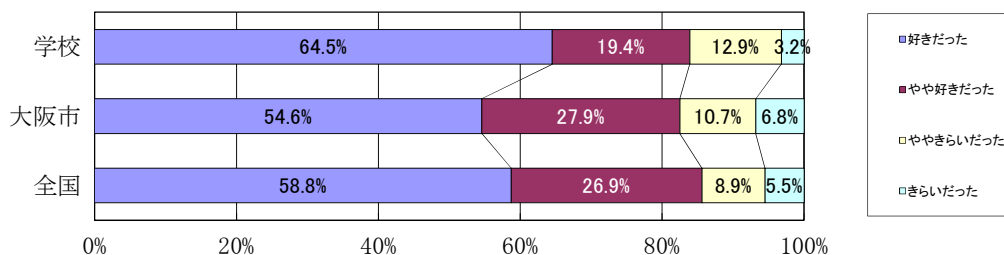
29

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



30

小学校入学前は、体を動か
す遊びが好きでしたか。



成果と課題

質問29の結果を分析すると、オリンピックに興味・関心があり、「実際に見に行くか」や「ボランティアをするか」の質問に対し肯定的に回答している児童が多い。また、「自分も出場してみたい」という回答が多いのは、前項の結果から（女子児童のポテンシャルの高さ）うなずける。

今後の取組

前項目でも記述したが、児童は、運動することが好きなのだから、校内でいかに取り組みを充実していくかが重要である。中学校の運動部活動への積極的な参加や、中学校体育教諭による模範演技などで児童の興味関心も高まるであろう。